

製品名: CD316 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08358**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	65kDa

抗原情報

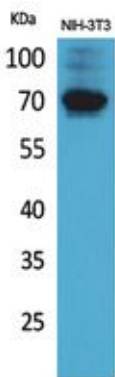
遺伝子名	IGSF8 IGSF8; CD81P3; EWI2; KCT4; Immunoglobulin superfamily member 8; IgSF8; CD81 partner 3;
別名	Glu-Trp-Ile EWI motif-containing protein 2; EWI-2; Keratinocytes-associated transmembrane protein 4; KCT-4; LIR-D1; Prostaglandin regulatory-like protein; PGRL; CD316
遺伝子 ID	93185.0
SwissProt ID	Q969P0
免疫原	抗血清はヒト IGSF8 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 451-500

背景

この遺伝子は、免疫グロブリンタンパク質スーパーファミリーの EWI サブファミリーのメンバーをコードします。このファミリーのメンバーは、単一の膜貫通ドメイン、EWI (Glu-Trp-Ile) モチーフ、および可変数の免疫グロブリンドメインを含みます。このタンパク質はテトラスパニン CD81 および CD9 と相互作用し、細胞遊走やウイルス感染などの特定の細胞機能におけるそれらの役割を制御していると考えられます。コードされているタンパク質は、特定の癌の増殖を阻害することで腫瘍抑制因子として機能する可能性もあります。選択的スプライシングにより、同じタンパク質をコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2011年9月],ドメイン: Ig 様 C2 型ドメイン 3 および 4 は、CD81 との相互作用に必要です。機能: 卵母細胞受精や C 型肝炎ウイルス機能など、CD81 および CD9 に起因する多様な機能において重要な役割を果たす可能性があります。ケラチノサイトの増殖と分化を制御している可能性があります。細胞運動の負の調節因子である可能性があります。CD81 と協調して T 細胞の移動を抑制し、CD82 と会合して前立腺癌細胞の移動を抑制し、CD9 と CD81 を主要なリンカーとしてラミニン 5 上で類表皮細胞の再凝集と運動を制御します。また、インテグリン依存性の形態および運動機能にも役割を果たす可能性があります。成体脳の神経突起伸展と神経回路網の維持の調節に関与している可能性があります。類似性:4 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。サブユニット:CD82、CD81/テトラスパニン 28、および CD9/テトラスパニン 29 と直接相互作用します。また、インテグリン $\alpha 3/\beta 1$ およびインテグリン $\alpha 4/\beta 1$ とも相互作用します。組織特異性:脳、腎臓、精巣、肝臓、胎盤で発現し、他のすべての組織でも中程度に発現しています。B 細胞、T 細胞、ナチュラルキラー細胞の大部分で検出されますが、単球、多核細胞、血小板では検出されません。

研究分野

画像データ



CD316 ポリクローナル抗体を用いた NIH-3T3 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。